

第3回 吉川中学校区地域部会 意見のまとめ

開催日：平成30年12月20日

会場：吉川中学校

(◎は市教委の発言)

1 アンケート報告（まちづくり協議会実施 小中こども園に通う家庭対象アンケート）

- 吉川4小学校の再編については、「色々な条件から判断し、あくまで、仕方なし」という思いを持ちつつ、統合するという考えの方が75%、現状のままだがよいが25%ほどであった。
- 吉川の中学校については、今のままだがよいという考えが40%、何らかの再編（選択制、統合、小中一貫）が必要という考えが60%であり、ある意味拮抗している。
- 通学時間は、30分程度を希望し、費用負担は無料を望む声が多いが、多少の負担は仕方なしという意見もあった。
- 学校に望むこと（重視すること）として多かった意見は、1番目が「勉強」であり、2番目が「社会性」であった。
- 無償アフタースクールを希望するかという問いについては、7~8割の方が希望した。学校再編を考えるならば、新たな考えの取組も必要だと考える。
- 反対意見の多くは、①通学時間や距離が気になる。②少人数制のメリットが失われる。であった。地域とのつながりが無くなる懸念もある。逆に今の人数では、部活や団体行動に制限が懸念であるという意見もある。
- 空き校舎の有効利用を考えてほしい。統合後も1クラスの人数は少なくしたい。

2 アンケート報告について意見交換

- 下校時、統合校からスクールバスで、今ある各小学校付近に戻ってくるのなら、学校（跡地）を利用して地域とのつながりを持つ何かができるのではないかと。PTAの繋がりが希薄になるのではないかとという意見がある。児童館を利用して保護者同士の繋がりをつくっていくこともできる。
- 1学級40人ではなく、20人程度で編成できないか、少人数の良さを活かせる。アフタースクールは作って欲しい。地域での行事をそれぞれ継続していくのは難しい。
◎国や兵庫県のルールで学級の大きさは決まっている。
- かなりの人が統合は仕方がないと思っているのではないかと。その方々の意見を酌むためにも無償のアフタースクールは欲しい。
- 教育にお金を使わなすぎる。工夫すれば（非正規職員や大学との連携で人材確保）無償のアフタースクールは可能となるのではないかと。
◎アフタースクールはバスで帰る時間の調整などにも有効かもしれない。
- 学力を重視したい人は現状維持、社会性を重視したい人は統合を望んでいるのではないだろうか。子ども園の人は統合を望んでいると思う。
- まず、お金がかなり絡んでくる。そういうものもあわせて出していけないと、せっかく出た意見が実現できない場合も出てくる。予算の事も含めて提案してほしい。
◎子どものために、お金をかけるということは考えていくべきこと。地図を見ても吉川の場合、スクールバスは必要と考える。市のお金（体力）がどこまで維持できるのかも考えなければならない。今現在の学校の維持管理費、新設の場合のコスト、バスのコストも含めて計算をはじめている。公立なのである程度は行政が負担すべきだと考えるが、財政上困難な場合は、親が負担することもあるかもしれない。
◎今の路線バスの運行状況を考えると通学に使えるものはない。まずはスクールバスだが、将来はコミュニティーバス（地域の方も乗れるなど）に変えていくことも考

えなければならない。今後、併用していく可能性を考えていく必要がある。

○小学校は、現状のままが良いとしている人が4人に1人はいる。その方が納得するためには、どんな対応をしたらいいのかを考えなければならない。

3 通学方法について

○小学生については、徒歩かバス通学である。今の吉川4小学校の徒歩通学の実態を踏まえた上で統合校の通学のあり方を検討していきたい。徒歩通学は、学校からどこまでの範囲になるか、バスはどのように運行すべきかを考えていきたい。

○吉川地域は、谷筋が多い。バスの本数は全部で4・5本、もしくはもっといるかもしれない。家の前までバスで迎えに行くというのは難しい。どの範囲については歩いてバス停まで来るのか、ということも考えないといけない。学校生活との関連、子どもに直接与える影響（体力や寝起き状態が引き続く）も考える必要がある。

○今行っている小学校等に集まってから移動するという方法もある。ただ、点呼は誰がとるのかなど、色々なルールを作る必要がある。体力の減少については、あまり保護者は興味がなさそう。

○アンケートの個別の回答（自由記述）には、体力の減少の心配は出てきていた。

○子どもたちの体力はデータの的には落ちていないらしい。自由に遊ばせる時間があるので、先程の話は、当てはまらないかもしれない。早く学校に着いて遊んだりしている。

○東吉川小が（みなぎ台ならば）通うのに一番苦労すると思う。どんなバスが必要か、大きなバスは難しいのではないか（道幅の関係）、小さいバスなら3台は必要ではないだろうか。通う時は大きな道まで出てくる必要があるのではないか。できればバス停までは、送り迎えをある程度はすべきだと考える。

○バスも大事だが、子どもがどこまで徒歩でいけるかを考えれば、おのずとバスのルートや、バスの大きさなども考えられる。例えばバス停まで2km以内は歩くなど。

○バスで安全ならば統合もやむなしと考える人がいるのではないか。2km歩いてさらにバスというのは大変ではないかと思う。

○（バス停まで歩いて出てくるようにすれば）実際には通学時間は短くなるのでは。

○バスを降りてから家に帰るまでの安全も考えないといけない。

○吉川に引越してきた時は戸惑ったが、遠い距離（3kmほど）でも、今はあえて歩いて通わせたい。登下校時に歩く中で、学べることは多いのではないか。吉川地域の自然のことを学べたり、忍耐力、自分で判断する力がついたりするなど、学校以外で学んでいることもある。それを喜んでいる。バスで失われる学習環境もある。

○他の地域でも、通学による教育効果（社会性が育つ）という話もあった。

○周りの人は安全面を言う人が多かった。東吉川小は統合に反対している人が多い。不便を強いられる地域に人が戻ってくるかどうかということを考えている。

○「徒歩通学範囲はどれぐらい」という議論だけでなく、「バス停までの歩く距離はどれぐらい」など、もっともっと考えるべきものがあることが分かった。今日はスタートラインとして、いろんな話を聞かせていただいた。

○今後の地域ボランティアのことに聞きたい。

○みなぎ台小学校に集約後は、通学方法などが変わるが、垣根隊などの地域のボランティアの活動についても話し合いを行い、引き続きご協力いただきたい。

【連絡事項】吉川の4小学校は、施設面から、みなぎ台に集約したいと考えている。次は時期だが、事前準備期間を十分取る必要がある。吉川近隣地区に小中一貫校が建った場合、みなぎ台の位置に集約した後で、新たな小中一貫校に全員で移ることを想定している。これは統合を繰り返すことではないという認識でいるので、ご理解いただきたい。